料金トラブルに あわないために ①



葬儀トラブル

25年度 全国相談1000件超

国民生活センターが掲げるトラブル防止対策

- 早いうちから参列者の人数や必要なサービスを確認する
- 葬儀社との打ち合わせは喪主1人ではなく複数人で参加する
- 見積書の内容をよく確認する

2009年度 20 21 22 23 24 25

25年度に1007件あった。内訳（複数回答）は「高価格・料金」が527件と最多で、「説明不足」は382件、見積もりに関するものが213件と続いた。

センターは背景に、参列者を身内に絞る家族葬や、通夜を省略する1日葬など葬儀形態の変化のほか、遺体に防腐処置を施し一定期間保存可能にする「エンバーミング」などサービスの複雑化を指摘。「家族葬なら安いはずだ」といった思い込みや、葬儀社の説明不足が影響しているとみている。

対策として、①家族が亡くなる前など早いうちから参列者の人数や必要なサービスを確認する②葬儀社との打ち合わせは喪主1人ではなく複数人で参加する③見積書の内容をよく確認する―の三つを挙げた。

葬儀コンサルタントの松瀬教一さんによると、火葬場の使用料や仕出し料理代のような葬儀社が受け取らない料金が追加請求されるケースが多い。「ただ見積書を読むのではなく、『総額』以外に料金は発生しないのかを業者に質問してほしい」と呼びかけた。

2026年7月　１ヵ月間の
料金トラブル報道数　過去最多

（右記は実際の記事の一例）

東京新聞・信濃毎日新聞・神奈川新聞・埼玉新聞
山梨日日新聞・北海道新聞・河北新報・デーリー東北
岩手日報・福島民報・下野新聞・茨城新聞・上毛新聞
中日新聞・伊勢新聞・静岡新聞・岐阜新聞・北日本新聞
北國新聞・福井新聞・神戸新聞・奈良新聞・中国新聞
日本海新聞・山陰中央新聞・愛媛新聞・徳島新聞
高知新聞・大分合同新聞・宮崎日日新聞・長崎新聞
佐賀新聞・南日本新聞　などで報道

料金トラブルの傾向　今昔

昔：支払いの際に「支払い額が多い」のに気付く

今：逝去後の本打合せの際に「最初に聞いた話と違う」のに気付く

葬儀トラブルで多いのが、料金トラブルです。
最近の傾向で多いのが「安く誤認させる広告」「実際よりも安い料金を伝える」ケース。
これでは**相見積もりは通用しない**ので、以下のように金額を確認するのがおすすめです。



追加代金のない葬儀社の見分け方 ①

事前に費用を聞いた後に「他に支払うものはないですね」と念を押します。

このとき「金額の後出し」をする葬儀社は要注意です。
念を押した時、「大丈夫。これ以外かかりませんよ」と言ってくれる葬儀社を選びましょう。

家族葬式場 ふじホール　藤 式典 24h受付　0120-961-940



どの葬儀社がいいの？



藤 式典が選ばれる理由 第１位

追加代金の心配なし

予算内で葬儀ができる！



毎日新聞 東京本社で行われた
終活セミナー当日の様子

新聞社主催 終活セミナーで
追加代金のない
良心的な葬儀社の見積例
として市内の葬儀社で唯一 紹介された実績！

第２位

写真スライド など

思い出の宝箱　無料！



故人様に心をたむけ、しっかりと偲ぶために。

思い出の写真スライドや思い出コーナーを無料で提供しています。

※花祭壇プラン限定サービスとなります。

第３位

とことん親切！

地域の皆様に信頼されて３０年！



ご家族が大切な方に「してあげたいこと」を叶えるための
ヒアリングや提案を丁寧に行うことで、
後悔のない、心癒されるお葬式を提供しています。



売り込み、押し付けはいたしません。安心してご相談ください。

家族葬式場　ふじホール

ちょっと聞いてみよう！

（有）藤（ふじ）式典 24ｈ受付　０１２０-９６１-９４０

ふじホール：西東京市栄町2-8-12　　本社：西東京市ひばりが丘北4-1-6